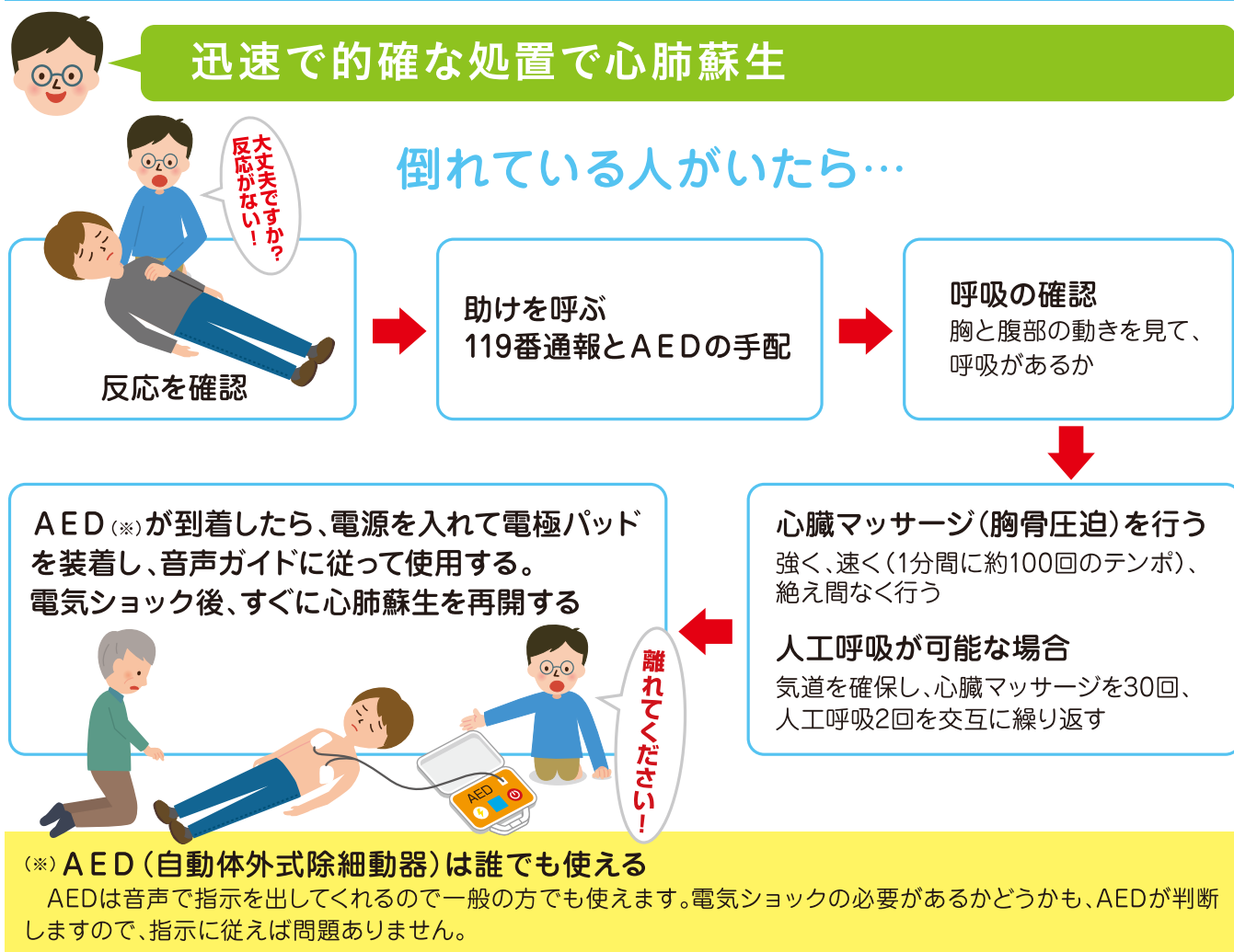


迅速で的確な処置で心肺蘇生

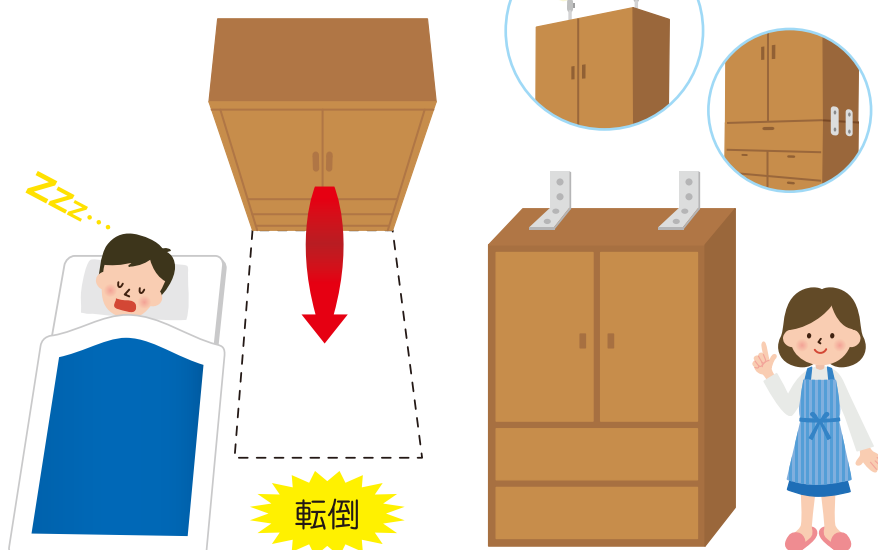


家の中の安全対策

地震は予測することが難しいため、万一の発生に備え、家具の固定を行い、配置についても考えておきましょう。

家具を安全に配置する

できるだけ人の出入りが少ない部屋に家具をまとめる。寝る部屋に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置する。



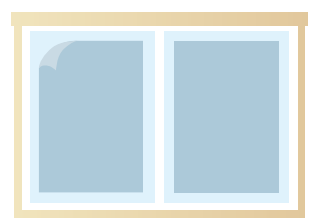
通路や出入り口に荷物を置かない

いざというときの避難路を確保するために、通路や出入り口にはできるだけ家具を置かないようにする。



窓ガラスに飛散防止フィルムをはる

窓はもちろん、食器棚や額縁などに使われているガラスにも忘れずに飛散防止フィルムをはる。



(やまおり)

いざという時も、いつものように、確かな情報を。

山陰中央新報グループ各社は災害時にも迅速で確かな情報をお届けするためのネットワーク作りに努めています。

山陰中央新報グループ

山陰中央新報製作センター
出雲市斐川町上庄原1318
TEL (0853) 73-9331

山陰中央新報セールスセンター
本社／松江市郷島町1-27
TEL (0852) 25-4008(代)

山陰中央新報松江南販売(株)
本社／松江市上乃木4丁目8-25 TEL (0852) 26-4000
上乃木営業所 TEL 26-4673 田和山営業所 TEL 26-4200
津田営業所 TEL 21-3755 北支店 TEL 23-6822

山陰中央新報サービス
本社／松江市殿町383 山陰中央ビル4F
TEL (0852) 67-3311

山陰中央新報いわみ開発(株)
本社／益田市あけぼの町7-3 TEL (0856) 22-8047
営業本部／浜田市治田町2886 山陰中央新報西部本社ビル3階
TEL (0855) 24-3480

停電への備えを

災害はいつ起こるかわかりません。地震や台風などの被害によってやむを得ず停電すること考えられます。危険回避を第一に、万が一の停電にも備えておきましょう。

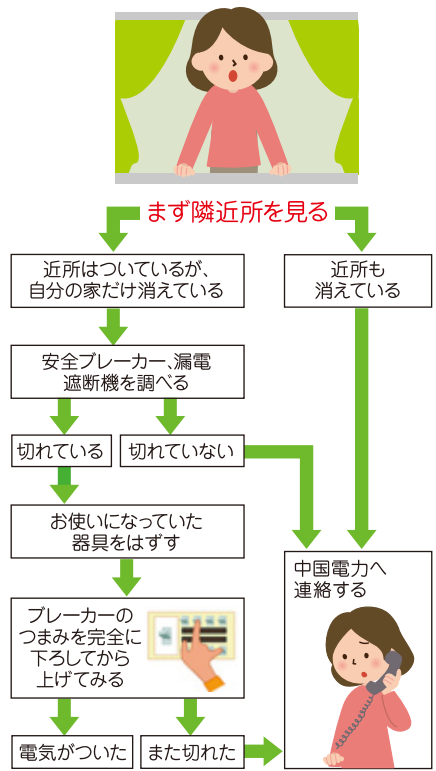
●切れた電線にさわらない

地震や台風によって切れた電線は、感電のおそれがあり大変危険です。絶対に近づいたり、触れたりせず中国電力まで連絡してください。また、電線に木や看板、アンテナなどが触れていたり、電柱が傾いているのを見かけた時も中国電力へ連絡してください。

●電気が消えたとき

電気が消えた瞬間は、とかく慌てるものです。落ち着いて、近所の停電状況を確認してみましょう。自分の家だけが停電(全部または一部)している場合は、ブレーカーのスイッチ操作だけで、簡単に電気がつく場合があります(ブレーカーの操作方法は、中国電力ホームページでも紹介しています)。近所も停電している場合や、ブレーカーを「入」にしても、電気がつかない場合に

は、中国電力へ連絡してください。日頃からブレーカーの場所、操作方法を確認しておきましょう。



●雷が鳴ったら

落雷により家電製品(テレビ、電子レンジなど)が故障する場合があります。雷から電気機器を守るには、プラグを抜き電気の通りを断つ対策が有効です。ただし、近くで落雷が発生しているときは、プラグに触れると感電する危険がありますので注意が必要です。

●ホームページで停電情報を確認

停電発生時には、中国電力のホームページ・携帯サイトで、停電情報などを確認することができます。停電時、スムーズに情報が得られるよう、事前の確認・登録をしておきましょう。
<http://www.energia.co.jp>

●停電時の迅速な対応

中国電力では配電線事故などが発生した場合に備え「配電自動化システム」を導入し、停電時の迅速な対応を目指しています。風水害や雪害などで配電線が切れる事故が発生した場合、コンピューターが自動的に断線箇所を特定、変電所間で送電をコントロールし、停電範囲・停電時間を最小限に食い止めます。

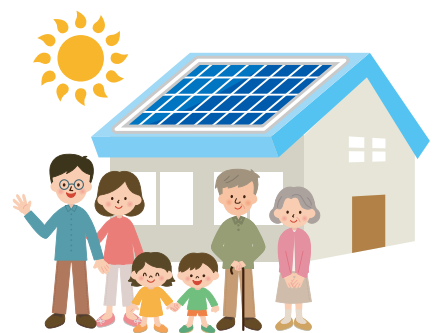
(やまおり)

太陽光発電の停電、災害時の活用方法

突然の災害により長時間停電になっても、太陽光発電システムに備わっている自立運転機能を活用することで、電力を使用することができます(自立運転機能を使うためには「自立運転コンセント」が必要です)。

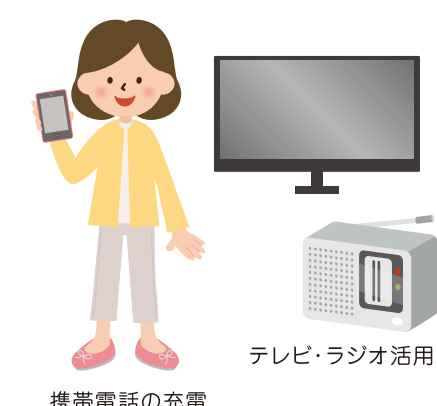
地域で助け合うために

太陽光発電の機能を、家族のためだけにとどまらず、近所の方々、地域の弱者の方々など電力を緊急に必要とする方のために使用すれば、地域全体の災害対応の能力を向上させることができます。



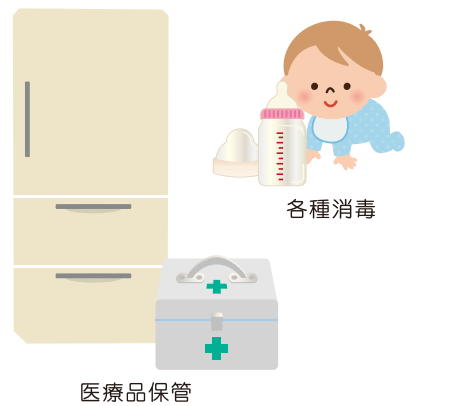
正確な情報を把握するために

情報があれば慌てずに済みます。自立運転コンセントの電気でラジオやテレビから情報を得られれば、身近の状況がわかり、落ち着いて行動できます。携帯電話を充電すれば出勤中の家族や遠くの親類に安否情報サービスなどを通じて安全を知らせる事ができます。



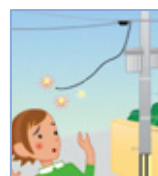
生命の安全を確保するために

衛生と食は私たちの命を支えます。平成16年10月に発生した新潟県中越地震では、太陽光発電の電力で炊飯器でご飯を炊いた人もいました。冷蔵庫が動けば医薬品を預かることができます。電気ボットでお湯を沸かし、赤ちゃんの哺乳瓶やコンタクトレンズを消毒することができます。



(参考資料:環境省「太陽光発電の賢い使い方」)

災害時のご注意



切れたり、垂れ下がった電線には近づかない!!

近づいたり、触れたりすると危険です。見つけたときは、最寄りの中国電力へご連絡ください。



地震がおきたら

スイッチを切り、プラグを抜きましょう。熱器具は火災の原因になりやすいので注意しましょう。



避難するときは

電気の消し忘れによる事故・火災を防ぐため、分電盤のブレーカーを切りましょう。



災害のあとは

壊れたり水につかった電気器具、屋内配線などは、必ず電気工事店などで点検してもらい、安全が確認されたから使用しましょう。

【停電のお問い合わせ先】

松江営業所 ☎ 0120-833-103
隠岐営業所 ☎ 0120-313-608
出雲営業所 ☎ 0120-311-950
浜田営業所 ☎ 0120-312-802

益田営業所 ☎ 0120-314-228
鳥取営業所 ☎ 0120-181-210
倉吉営業所 ☎ 0120-212-605
米子営業所 ☎ 0120-211-426

Energia
中国電力株式会社
<http://www.energia.co.jp>

災害時 家族を守る「蓄電池」

いつ起きるか分からない災害。万が一停電になっても、蓄電池が安心をお届けします。

ラインアップ豊富!

電力確保

停電時の電力を確保します。

太陽光発電と連携

太陽光発電で創った電気を充電して使えます。

節電

深夜の安い電力を蓄えて節電します。



お客様の満足まで発電したい

TOYOSOLAR
東洋ソーラー株式会社

(お気軽にご相談ください) スマートかつ安心な生活を東洋ソーラーが分かりやすくご提案します。

0120-69-1040

<http://www.toyosolar.co.jp>
東洋ソーラー 検索